

当事者団体連絡会の報告

(令和4年9月～令和4年12月)

1 開催日

令和4年9月8日、10月13日、11月10日、12月8日

2 内容

(1) 部会等の報告

(2) 第2回自立支援協議会振り返り

- 全体的にととても分かりやすかった。
- 医療的ケア児等の親の急病→地域生活支援拠点の緊急時支援(かすがい)と資料11に書かれているがレスパイト入院やショートステイも受け入れが困難な状況では難しいのではないかと思った。

(3) お知らせと情報交換

- 今年度は各団体ともコロナ禍ではありますが研修会などの行事を実施しています。また、例年の行事等も3年ぶりに実施され参加しています。
- 医療的ケア児等のレスパイト入院、ショートステイの受け入れが困難で介護者の肉体的・精神的な疲労が蓄積している。
- 福祉応援券のネーミングを変えられないか？本人が使うことを躊躇する。プライベートカードも使いやすい。

(4) 課題

- 精神部会の立ち上げを当事者団体連絡会から要望する。
福祉サービスにつながっていないケースもあるのでまずは相談員につながることをすすめている。困難事例については専門的なアドバイスが必要と感じる。
また、精神の障がい特性に寄り添う家族支援が必要である。今後は事例を挙げ、精神部会の必要性を伝えていきたい。
- 地域生活支援拠点の検討の強化
 - ・グループホームから通所施設への送迎
 - ・グループホームは春日井市の東部にあるが中央部や西部にもあるといい。
- 医療的ケア対応のGHが春日井市内にできると将来的に安心。